

2022.9.23 - 9.24

猛威をふるった「台風第15号」

川根本町が受けた爪痕を写真で紹介します

1_土砂の押し出しがあった町道水川藤川線。町内の至る所で同じような光景が見られた。 2_陸上自衛隊の支援活動の様子。 3_県道川根寸又峡線塩郷地名間。島田市へのアクセスが絶たれた。 4_建物内に押し寄せた土砂。 5_土砂崩れで崩壊した家屋。幸い人的被害はなかった。6_林道河内川線下泉壱町河内間。道路上に倒れた木々。 7_寸又峡の夢のつり橋。遊歩道が崩落し、吊り橋が利用できない状態に。 8_不動の滝キャンプ場事務所前の道路が濁流に削られ、キャンプ場は現在休業している。 9_沢の水が流れ込み浸水した民家。



9月23日午前9時頃に室戸岬の南300kmで発生した台風第15号は北から北東へと進路を変えながら進み、24日午前9時には東海道沖で温帯低気圧に変わりました。
静岡県では、台風の接近により湿った南風が強まって大気の状態が非常に不安定となり、さらに沿岸に沿って発生した局地的な前線雨雲が発達し、猛烈な雨となりました。これに加えて台風の動きが比較的ゆっくりであったため、同じ地域に雨が降る状況が継続し、当初の予想を上回る記録的な大雨となりました。県中部では23日夜遅くから24日明け方にかけて雨が降り続き、記録的短時間大雨情報（1時間に110ミリ以上の雨）が16回発表されました。これにより、複数の観測点において、1時間降水量観測史上1位の値を更新しました。
23日の22時50分、かねてフォンのお知らせのアラーム音とともに町内全域に「警戒レベル3 高齢者等避難情報」が発表されました。その約1時間後には、本町は最大時間雨量94.00ミリの記録し、1回目の「記録的短時間大雨情報」が発表されることになりました。

9月23日から24日にかけて本町に甚大な被害をもたらした台風第15号。災害発生から2カ月が経ち、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。町では、被害への対応や現状把握にできる限り迅速に努め、皆様の生活再建に向けて、全力を尽くします。本号では、災害発生当時を時系列で振りかえるとともに、実際に被災された町民のインタビューを交え、復興に向けて歩みはじめた町内の様子を紹介いたします。